



令和3年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」
事業実施報告書

- I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
II マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
III スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

道府県・政令市名【 福岡県北九州市 】

学校名【 高見小学校 】

1 実践テーマ	①・II・③・IV・V（複数選択可）
2 実施対象者 (学年・人数)	第6学年 70名
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名 (総合的な学習の時間) ② 行事名 () ③ その他 () (2) 地域における活動 ① イベント名 () ② その他 ()
4 目標 (ねらい)	<ul style="list-style-type: none"> パラリンピック競技選手と児童との交流を通して、オリンピック・パラリンピックへの関心を高める。 障害者理解についての学習や、障害をもつ選手との交流を通して、障害への理解を深め、心のバリアフリーにつなげる。
5 取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 事前学習「みんなが楽しめる工夫」の学習を通して、障害があるなしに関わらず、一緒にスポーツを楽しむ工夫について考える。 パラリンピアンとの講話を聞く。 競技用車いすの体験。 パラリンピアンの実技を見る。 パラリンピアンと、車いすテニスでの交流をする。 事後指導「パラリンピアンとの交流を通して」では、障害について新しく知ったことや意識が変わったことについて、考えを交流した。  
6 主な成果	<ul style="list-style-type: none"> 障害及び障害者スポーツについての価値観を共有し、心のバリアフリーについて考えを深めた。 パラリンピアンとの経験談や大切にしている考え方を知り、自分の目標や将来の夢について考えることができた。

<p>7 実践において工夫した点 (事業の特色)</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 本校は、校区内に様々なスポーツの国内大会や国際大会が開催される北九州市総合体育館がある。徒歩で20分という立地にあり、児童が見学を行う際には、交通機関の手配が不要であり、見学に行きやすいという利点がある。
<p>8 主な課題等</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 講師を遠方から招聘する際は、講師料や交通費が高額になり、学校独自で同じような取組を行うのは難しい。 • 道具の運搬車両の調達や講師の送迎に公費が使えず、PTAに協力依頼して費用を出してもらう必要がある。 • コロナ禍においては、感染防止対策の徹底が必要であるが、それを行うことで講師と近くで話すことが難しく、せっかく来ていただくにもかかわらず、教育効果が低下する可能性がある。
<p>9 来年度以降の実施予定</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 高学年の総合的な学習の時間において、障がい者スポーツを取り上げる。また、体育科の教科等研究のアイデアにしたい。